

## 稲包山山行記録

目的地	稲包山	期 日	平成21年8月9日(日)・曇と霧
山人	佐々木康男・フサ子・中野 茂・笠原正雄・澄子	特 記	佐々木氏のリクエストにより出掛ける。

地名	時刻	記 事
与板発	午前6:00	2台で出発。下山口の三国スキー場に1台を配置し5人で三国トンネルへ。
三国トンネル新潟県口	8:25発	少し霧雨模様だが、カッパなしでスタート。丸ノ大源太山を目指す男女5人隊が少し先を歩く。左山腹から湧き出ている御神水を汲む。途中で5人隊に追い抜く。彼らはカッパ上下を着ていた。
三国権現社前	8:55~9:05	5人隊もほぼ同時に着く。群馬県側から、三国山を目指す太田市金山ハイキングクラブの男女18名が賑やかに上がって来た。いずれも我々と同年代だ。
長倉山	9:30	緩い登りから始まるが、後半は10分チョットの急登。1,439mの道標。
長倉山下	9:35~9:45	大下りで巨大送電線鉄塔下。休み、少し食べる。ここへの途中、太い蛇が藪の中に消えて行った。
キワノ平の頭手前	10:30	展望が利けば気分の良い県境稜線だが、今日はガスで全く展望は無い。僅かに苗場のプリンスホテルが見えた。ガマズミの赤い実が多く目立つ。ここで少し休む。すぐにキワノ平の頭の標柱がある。
猿が渡る	11:10	コベックラ分岐を過ぎて樹林に入ると、右の林の中で声をあげ、枝をわたる猿を見た。
一時雨となる		小稲包山への分岐附近に来ると雨が当たって来た。木立の下に入り、後続を待つ。
稲包山山頂着	12:05	着いたときは小雨が残っていたが、しばらくして止んだ。一瞬、白砂山方面が姿を現したが、全く展望は無い。虫がうるさい。枯れ笹を集めて燻ぶらせる。やや遅れて康男氏、フサ子氏と到着。誰も居ない山頂を貸し切りで過ごす。
稲包山山頂発	午後1:40	気温が少し上って、虫も来なくなり、雨の心配も消えた。濡れたせいかボイスレコーダーが不調となる。
三国スキー場	3:30	途中の丸木橋は流されていた。深くても10数cmの渡渉、幅も2mチョットで済む。その後は遊歩道歩きとなるが、刈払いがされておらず、道地面を草が覆う所もあった。やはりこの歩道歩きは長く感じる。
三国トンネル新潟県側		車回収にここに来ると、道路側壁のコンクリートの上に猿が居た。宿場の湯をやり過ごして街道の湯で入浴。
久廻屋へ	6時過ぎ	みよしのは休み、5人でハンバキ。

この山は三度目で、このコース取りは2度目である。前週のハイキングコース草刈り後、佐々木さんから話が出た。次週に北アルプス縦走を計画していたので、妻の足慣らしに丁度良いと思い、一緒に行くことにした。後日中野氏も同行することとなった。

以前の入山はいずれも秋だったので、木々や草の様子が違っていた。また、キワノ平の頭前後の道は、腐葉土が堆積していて、クッションとなっている。鷲羽岳・笠ヶ岳のガレ場や岩場歩きの直後だけに、その軟らかさが心地よかった。

ボイスレコーダーが不調となった。そして、間抜けなことに勘違いからデジカメの撮影データを削除してしまった。従って下山時の記録を作成出来なくなった。